

第17回まちLab

日時：平成19年2月6日（火）開催 午後7時～午後9時

場所：まちやサロン於

モデレーター：猪俣

参加者：樽木、加藤、藤野、長友、野村、中村(豊)、津久井

欠席者：中村(喬)、鈴木、荒井

AGENDA

■報告事項

■「NPOと行政の対話フォーラム‘07」開催地：横浜市（報告者：中村豊）

日本NPOセンター HP <http://www.jnpoc.ne.jp/>

◇事例報告（報告別紙資料）

千葉県市川市、東京都狛江市、神奈川県大和市

（メンバー意見）

- ・ 市民活動推進の条例の効果は大きい。市民にも行政職員にも好影響を及ぼしているようだ。
- ・ 条例策定時に市民と行政が集中して学ぶ機会がいい結果をもたらすのではないかな？

◇分科会

①協働の時代の議会の役割とは-市民とともに施策をつくる

②人が育ち、地域が育つ資金支援のあり方とは-効果的な仕組みを作る

③対話し合えるNPOと行政とは-互いの信頼関係を築く

（メンバー意見）

- ・ 自治体からNPO団体への短期研修としての派遣は、銀座NPOサポートセンターが中心となっている事例は数年前から聞いている。ただし、認証団体という関係から県職員の派遣が多い。

■「行政とNPO法人の協働の現状と課題」（報告者：猪俣）

公共サービスの現場にNPOが参画するためにはサービスコンテンツの現状を把握し、さらに求められるサービスを提供していくためにはパブリックコメント制度や市場化テストなど新たな取り組みと制度化が必要ではないかな？

■「中心市街地活性化基本計画の現状」（報告者：館林市役所 市民参画推進課）

総理大臣の認定を受けられるような計画を策定中。近日、第6回中心市街地活性化基本計画策定委員会を開催予定。

※第6回中活基本計画策定委員会

とき：2/19（月）午後7時～ ところ：館林市文化会館3号室

■課題

今後の研修予定（シラバス）について

本の選定により、今後決めていく。（図書のボリューム及び難易度を踏まえる）

課題図書選定

「自治体をどう変えるか」佐々木信夫 著 ちくま書房 発行

※次回輪読「自治体をどう変えるか」第1章～第4章 報告者：津久井

今回の選定図書以外に『NPO関連書』を併読していきたい。（選定担当：猪俣）

○次回「第18回 まちLab」

とき：3/27（火）午後7時～ ところ：まちやサロン於